

授業評価 2015 (後期) T1N: 工学部建築学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.80(2016-02-13) by Yas

2015 年度後期 工学部建築学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1N004001	構造力学 I	1 年後期月曜 3 限	高橋 徹	T1N 1
T1N047001	建築環境計画 III	3 年後期月曜 2 限	宗方 淳	T1N 3
T1N059001	構造設計 III	3 年後期水曜 3 限	原田 幸博	T1N 4
T1N061001	建築情報処理	3 年後期木曜 4 限	平沢 岳人	T1N 5

授業科目名	: 構造力学 I
担当教員	: 高橋 徹
年次・開講時限:	1 年後期月曜 3 限
授業コード	: T1N004001
授業アンケート:	回答者数 32 人 / 受講者数 80 人 (回収率 40%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 32 件)

87.5%の回答者からは「見やすい」との回答を得ているが、3人が板書の文字が読みにくい、と回答している。授業の性格上、添字を多用するので、近視者にはつらいかもしれない。自由記述欄には「スライドが速い」との記述があったが、PowerPoint を使用したのは3回だけ（板書だと図を描くの時間に時間が掛かりすぎるため）なので、その回のノートテイクがよかったのかもしれない。別の観点から考察すると、左側前の席からはプロジェクタのコントロールボックスや教卓が邪魔になって黒板が見づらい。無用に巨大なコントロールボックスは更新の時期に来ていると考えられる。

別項目にある授業進度は「適切である」との評価が大半なので、見づらい人は見やすい席に座るなどの自己努力が必要と考える。

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 32 件)

「はい」でなかった人が最も多かったのがこの項目である。Q8 への回答を見ると、温熱環境に関する記述が6名、手元が暗いが1名、音がうるさいが3名であった。自由記述欄を見ると、「学生がうるさい」という記述がある。確かに、今年の受講生は今までになく開始前の私語が多かった。私語が止むまで待っていると、従前は程なく静かになったものだが、今年は止まる気配が感じられず、言葉で静止せざるを得なかった。学生気質が変わってしまったのであろうか。

もう一つの自由記述は「学生の数に対して教室が狭い」とするものであった。今年は指導体制の都合によりいつもは2クラスで開講している演習を1クラスで開講したため、そのような評価になった可能性がある。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。 (回答 5 件)

演習課題への回答がわかりやすかった、と言う主旨の記述が多く、勇気づけられた。一方で、改善すべき点 (Q30) への回答に、教員・TA の人数を増やして欲しい、という記述があり、本来2クラス開講が理想であるので、それが可能であるように次年度は期待している。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

この授業は「必修」となっていることからわかるように、建築の分野で社会に出たら「常識」レベルの内容である。だからといって高校までの授業のように「復習なんかしなくても解ける」ような易しいものでもないことは追試対象者ならわかったと思う。得てして、春休みまで掛かって追試の勉強をした人の方が、最終的な理解度は深かったりする。1回で合格した人も、たゆまぬ努力を続けて欲しい。

3. その他のコメントや連絡事項

ノートテイクのスピードを考慮して、あえて板書にしているところがあるのだが、プロジェクタのコントロールボックスが大きすぎて黒板を隅から隅まで使えないのが難点である。90分の授業で最低2往復はするので、消すまでに時間が少しでも確保出来るように、コントロールボックスの更新 (サイズの縮小・最適化) を切に願う。

作成(者): 高橋 徹

授業科目名	: 建築環境計画 III
担当教員	: 宗方 淳
年次・開講時限	: 3 年後期月曜 2 限
授業コード	: T1N047001
授業アンケート	: 回答者数 14 人 / 受講者数 60 人 (回収率 23%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 14 件)

PPT ではなく板書による講義としているのは, ノートに自身で書き込むことの学習効果を期待しているためである。見易さへのご不満は頂いていないものの, 文字の読みにくさの指摘を多く頂いており, これは毎年の課題である。読めない文字や理解できない箇所があれば, 適宜講義中に質問していただけるとありがたい。

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 14 件)

環境への総合評価は肯定的なものばかりだが, 温熱環境や騒音, 空気質への不満の指摘を頂いている。9 - 107 室は機械換気設備が単なる換気扇のみで, 稼動させると暗幕を巻き込む位置に設置されているため, 実質的には換気設備が機能していない。この点は学務にリクエストをしている。温度については学生自身が能動的に設定をして欲しい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

選択科目であり, シラバス内容から選択をしていただいております。回答者に限れば理解や満足度も適切であると判断していただいております。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 宗方淳

授業科目名	: 構造設計 III
担当教員	: 原田 幸博
年次・開講時限	: 3 年後期水曜 3 限
授業コード	: T1N059001
授業アンケート	: 回答者数 7 人 / 受講者数 28 人 (回収率 25%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 7 件)

毎回の講義資料は教科書の補助教材となるよう、最大限の注意を払って作成している。その点は高く評価されていると考える。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 7 件)

講義資料スライドはフォント種類・大きさとも見やすさに配慮して作成している。その点は高く評価されていると考える。

Q19. 演習は対応する講義の進捗と適切に連動していましたか? (回答 5 件)

講義では部材や接合部の設計式の導出や背景の説明が中心となるので、接合部の設計式の使い方を習得するために演習問題に取り組むことは非常に重要である。演習問題は、講義で紹介する例題の内容に基づいたものを設定しており、適切な難易度・分量であると考えている。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

履修者の大半は、ほぼ毎回講義に出席して演習問題にも取り組んでいた。毎回の講義資料は教科書の補助教材となるよう、毎年細かく手を入れており、その点は受講生各位に高く評価されていると考える。今後も同様の改良を継続したい。

3. その他のコメントや連絡事項

四年次の構造系の授業科目において、本講義の知識を積極的に活用されたい。

作成(者): 原田幸博

授業科目名	: 建築情報処理
担当教員	: 平沢 岳人
年次・開講時限	: 3 年後期木曜 4 限
授業コード	: T1N061001
授業アンケート	: 回答者数 8 人 / 受講者数 24 人 (回収率 33%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。（回答 8 件）

定型の講義なのでシラバスは完成されている。回答からも 100 %の肯定意見が得られた。

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか？（回答 8 件）

教科書は歴史も古く定評のあるものだが、記述がやや古い部分がある。現代の環境とは合致しない部分は講義中に解説を入れている。多くの学生が満足しているのでよかったと思う。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか？（回答 8 件）

地声が大きいのでマイクを使わないで済ませているが、他の講義で問題となったことはない。この講義では実演時に PC に向かった姿勢で話すことが多いので、そのときに聞こえづらいゾーンができていないのかもしれない。常に気をつけたいと思う。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

15 回と短い講義で多くのことを学ぶので予習復習が特に重要。講義時間外にも遠慮無く質問をどうぞ。

3. その他のコメントや連絡事項

建築学科の他の講義とは毛色が異なるが、建築のどの分野に進んでも役に立つ知識。デザインにさえ該当するので多くの学生の受講を期待する。

作成（者）: 平沢岳人